

# 平成21年度新規採択事業 評価調書

(平成20年度 新規採択時評価実施)

## 事業の概要

|                  |   |            |   |
|------------------|---|------------|---|
| 事業名              | 宮前橋改築   |            |   |
| 事業区間             | 自: 伏見区淀大下津町<br>至: 伏見区納所町  | 延長, 幅員又は面積 | 延長 L = 640m (橋梁延長 L = 366.4m)<br>幅員 W = 15.0m (橋梁部 W = 15.3m) |
| 総事業費             | C = 6, 367百万円   | 完成予定年度     | 29年度  |
| 事業概要<br>(目的・内容等) | 本事業は, 国土交通省淀川河川事務所が現在、伏見区淀大下津町, 淀水垂町, 淀樋爪町他で進めている一級河川桂川改修事業(大下津地区引堤事業)の影響により, 延伸が必要となる宮前橋に対し, 橋梁改良を実施するものである。 |            |   |
| 箇所図              |   |            |   |

## 事業を巡る社会経済情勢等

|            |  |
|------------|--|
| 社会背景と今後の動向 | <p>本市では災害時の緊急輸送道路に架かる橋及び鉄道や他の道路を跨ぐ橋を都市防災上重要な橋梁と位置づけて耐震対策工事を進めている。その中でも、幹線道路である国道171号と主要府道京都守口線を結び、第二次緊急輸送道路でもある宮前橋は、優先的に耐震対策を行うべき橋梁である。また、大型車の通行が多いことから、車両大型化の対応が必要となっている。さらに、歩道が片側のみで、かつ、狭いため、歩行者や自転車の通行に支障を生じている。</p> <p>一方、現在事業中の大下津地区引堤事業は、淀川水系河川整備計画(案)に位置づけられており、桂川の治水安全度の向上のために国土交通省において実施している。</p> <p>以上のことから、耐震対策、車両大型化対策及び歩道拡幅を図り、引堤によって広がる川幅に対応した宮前橋の改築が必要となっている。</p> |
| 市民ニーズ      | <p>本橋は、避難・救助をはじめ物資供給等の応急活動のため、緊急車両の通行が可能である緊急輸送道路としての機能を果たせる耐震性能の確保が求められている。さらに、歩行者及び自動車が安全に通行できるよう、交通の安全性向上が望まれている。</p> <p>また、引堤事業により確保した桂川の治水安全度に支障の少ない橋梁整備が必要である。</p>   |

## 上位計画から見た事業の有効性

| 京都市基本計画                                     |  | 事業ごとの上位計画                     | 具体的な効果と受益者  |
|---|--|-------------------------------|---|
| 大項目   | 小項目  |                               |   |
| 安らぎのある暮らし<br>華やぎのあるまち<br>市民との厚い信頼関係の構築をめざして | 災害に強く日々の暮らしの場を安全にする<br>魅力ある観光を創造する<br>多様な都市活動を支える交通基盤づくり | ・京都市都市計画マスタープラン<br>・京都市地域防災計画 | ・地震災害発生時などの緊急輸送道路としての耐震性能確保<br>・車両大型化対応並びに自転車歩行者道の整備による、自動車・歩行者交通の安全性向上<br>・騒音・振動の低減<br>・京都市桂川西岸・淀水垂地区と東岸・淀地区を結ぶ歩行者アクセスの向上（来訪者、観光客、地元住民）<br>・治水安全度の向上 |

## 事業の要件

|                |  |
|----------------|--|
| 環境景観への配慮事項     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通騒音の低減，自動車交通の視認性向上に配慮する。</li> <li>・周辺の動植物の生態系に配慮した照明計画を行う。</li> <li>・景観に配慮した橋梁整備を行う。</li> </ul> |
| 市民と行政のパートナーシップ | 節目において地元説明会を開催し，地元住民の意見反映や情報提供を積極的に行い，市民と行政のパートナーシップを図る。   |

## 事業の評価結果

| 評価 |   |
|----|---|
| 理由 | 本事業の事業効果にあたる橋梁の耐震性能向上，歩道の拡幅などについては，その効果を貨幣に換算する手法が確立されていないため，評価結果を算定することができない。<br>しかしながら，本橋は都市防災上重要な橋梁であることから，阪神淡路大震災と同程度の地震による被害が生じた場合にも，緊急車両等が支障なく通行できる環境を確保しなければならない。<br>さらに，関連する引堤事業を実施するための前提として，本事業は必要不可欠である。<br>以上のことから，評価結果はAに準じるものである。 |

## 評価指標の算定結果

|              |         |
|--------------|---------|
| 費用便益比（C B R） | B / C = |
|--------------|---------|

本事業は橋梁の耐震性能向上，歩道の新設・拡幅を図る事業であるが，その効果に係る費用便益分析の算出方法が確立されていないため，事業の投資効果を示すことはできない。

**事業の必要性**

|               | 評価項目                             | 評価指標   |
|---------------|----------------------------------|--|
| 誰が何をいつどこでやるのか | 環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</li> <li>■保存すべき貴重種等生物の生息環境に対して影響性は低い(生態系の保全に配慮)</li> </ul>  |
|               | 災害に強く日々のくらしの場を安全にする              | <ul style="list-style-type: none"> <li>■対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五カ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり</li> <li>■緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替道路を形成する</li> </ul>  |
|               | 日常生活における身近な安全や安心を確保する            | <ul style="list-style-type: none"> <li>■自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</li> <li>■当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される</li> </ul> |
| 何をいつどこでやるのか   | 産業関連都市として独自の産業システムをもつ(中心市街地の活性化) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■中心市街地へ至る現道(もしくは並行する路線)の混雑度が1.0以上</li> </ul>  |
|               | 魅力ある観光を創造する(レクリエーション活動の振興も含む)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■観光地・レクリエーション基地と交通拠点間とのアクセスを向上させる</li> </ul>  |
| 何をいつどこでやるのか   | 多様な都市活動を支える交通基盤づくり               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車に対応する</li> <li>■DID 区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</li> </ul>   |
|               | 多様な都市活動を支える交通基盤づくり               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■幹線道路ネットワークを形成する</li> <li>■鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消</li> </ul>   |